

《令和3年度 建設業の人材育成・確保に関連する概算要求》

他産業に比べ高齢化が急速に進行している建設業にとって人材育成・確保は喫緊の課題となっています。国においても若者や女性の建設儀容への入職や定着の促進等に重点を置きつつ国土交通省と厚生労働省が連携して関係する様々な施策を継続的に実施しています。

そこで、令和3年度予算概算要求から「人材育成・確保に関連する施策」の主な内容をご紹介します。

①「人材確保」=社会保険加入の徹底・定着等に4000万円、建設事業主に対する助成金による支援57億に2000万円 ②「人材育成」=地域建設産業の生産性向上及び持続性確保に1400万円、建設キャリアアップシステムの普及・活用に1億9700万円、中小建設事業主等への支援(建設労働者育成支援事業等)に5億7000万円 ③「魅力ある職場づくり」=建設産業の働き方改革の実現に1億9800万円、デジタル・ガバメントの推進に8億0600万円、働き方改革推進支援助成金による支援に65億4000万円、働き方改革推進支援センターによる支援に66億8000万円---等を要求しています。

国土交通省		厚生労働省	
人材確保			
◆ 建設産業の働き方改革の実現	198百万円	◆ 建設事業主等に対する助成金による支援	57.2億円
◆ 誰もが安心して働き続けられる環境整備 建設産業における女性の定着促進を通じた働き方改革 社会保険加入の徹底・定着	40百万円	◇ ハローワークにおける人材不足分野のマッチング支援	45.1億円
◆ 建設キャリアアップシステムの普及・活用	197百万円	◇ 高校生に対する地元における職業の理解の促進支援	36百万円
◆ デジタル・ガバメントの推進	806百万円		
人材育成			
◆ 地域建設産業の生産性向上及び持続性の確保	14百万円	◆ 中小建設事業主等への支援	5.7億円
◆ 建設産業の働き方改革の実現 (再掲)	198百万円	◆ 建設分野におけるハロートレーニング(職業訓練)の実施	1.2億円
◆ 誰もが安心して働き続けられる環境整備 (再掲)	40百万円	◇ ものづくりマイスター制度による若年技能者への実技指導	30.7億円
◆ 建設キャリアアップシステムの普及・活用 (再掲)	197百万円	◇ 短期間で取得でき安定就労に有効な資格等の取得支援	34.7億円
専門工事企業の施工能力等の見える化 技能者の定着促進、技能習得・研鑽		◆ 建設事業主等に対する助成金による支援 (再掲)	57.2億円
魅力ある職場づくりの推進			
◆ 建設職人の安全・健康の確保の推進	17百万円	◇ 働き方改革推進支援助成金による支援	65.4億円
◆ 建設産業の働き方改革の実現 (再掲)	198百万円	◇ 働き方改革推進支援センターによる支援	66.8億円
適正な工期設定・施工時期の平準化等による働き方改革の推進 建設技術者の働き方改革の推進		◆ 中小専門工事業者の安全衛生活動支援事業の実施	96百万円
◆ 誰もが安心して働き続けられる環境整備 (再掲)	40百万円	◆ 雇用管理責任者等に対する研修の実施	1.0億円
◆ デジタル・ガバメントの推進 (再掲)	806百万円	◆ 「つなぐ」化事業の実施	30百万円
建設業許可等の電子申請化に向けた調査・検討 建設キャリアアップシステムとマイナンバーカード・ マイナポータルの連携構築 建設関連業者登録システムの電子申請システムの構築		◇ 労災保険特別加入制度の周知広報等事業の実施	1.1億円
		◆ 建設業における墜落・転落災害等防止対策推進事業	93百万円
		◆ 建設事業主等に対する助成金による支援 (再掲)	57.2億円